

平成26(2014)年10月14日
独立行政法人都市再生機構
東京地下鉄株式会社

東京メトロ日比谷線霞ヶ関駅～神谷町駅間の新駅整備について

環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区においては、平成26年3月28日に行われた東京都の国家戦略特区提案および平成26年10月1日に行われた第1回東京圏国家戦略特別区域会議の内容を踏まえ、国際競争力強化を目指し、関係者間で検討を進めて参りました。

今般、10月10日、特定都市再生緊急整備地域 東京都心・臨海地域に関する都市再生緊急整備協議会において、環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区整備計画が決定され、生活環境を備えた国際的なビジネス・交流拠点の整備及び交通結節機能の強化を行うこととなりました。

この整備計画において、UR都市機構は、虎ノ門地区拠点整備事業と併せ、(仮称)地下鉄日比谷線新駅整備事業の実施主体として位置付けられました。

また、東京メトロは、新駅の設計・工事を受託するとともに、供用開始後の運営管理を行うこととなりました。

今後、関係機関及び周辺の都市開発との連携・調整を図りながら、新駅の整備を進め、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会までに供用開始することを目指し、大会会場等への交通結節機能の強化等に貢献して参ります。(新駅の最終完成は2022年度を予定しています。)

なお、新駅整備の概要は別紙のとおりです。

◆本件に関する問い合わせ先

UR都市機構：東日本都市再生本部 総務部 総務チーム TEL03-5323-0625

東京メトロ：広報部広報課 TEL03-3837-8277

東京メトロ日比谷線新駅の整備について

1. 事業の名称 (仮称)地下鉄日比谷線新駅整備事業
2. 実施主体 独立行政法人都市再生機構
3. 実施期間(予定) 平成26年度(2014年度)～平成34年度(2022年度)
4. 整備位置(予定) 東京メトロ日比谷線霞ヶ関駅～神谷町駅間 (下図)
5. 設計・工事 東京地下鉄株式会社(独立行政法人都市再生機構から受託)
6. その他 今後、都市計画などの必要な手続きを実施予定



◆参考情報

1. 国家戦略特区提案「東京発グローバル・イノベーション特区」について(平成26年3月28日付東京都知事本局)
<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2014/03/20o3s900.htm>
2. 「東京都長期ビジョン(仮称)」中間報告への意見募集について(平成26年9月12日付東京都政策企画局)
http://www.seisakukikaku.metro.tokyo.jp/tokyo_vision/chuukan.htm
3. 第1回 東京圏国家戦略特別区域会議 配布資料(平成26年10月1日付内閣官房地域活性化統合事務局、内閣府地域活性化推進室)
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/tokyoken/dai1/shiryu.html>
4. 特定都市再生緊急整備地域 東京都心・臨海地域(環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区)整備計画の決定について(平成26年10月14日付東京都都市整備局)
<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/seisaku/toshisaisei/toshisaisei2120308.html>